



わくわくどきどき科学教室 in ながしま きれいな万華鏡を作ったよ

7月26日、町開発総合センターで「わくわくどきどき科学教室 in 長島」を開催しました。

これは、子どもたちがさまざまな科学体験をとおして、科学に対する興味や関心を深めることを目的に実施され、町内外から約300人が参加しました。

「ぶつとびロケット」や「光りのふしぎを作ってみよう」、「マイナス19.6℃の世界」、「地震が来たときの建物のゆれについて学ぼう」など24種類のブースが町内外から出展。子どもからその保護者まで、みなで科学の不思議を学び、楽しみました。

参加した小畑莉子ちゃん（4歳・片側）は「万華鏡作りが一番楽しかった。きれいな万華鏡ができたので、お家でも楽しみたい」と目を輝かせました。



長島イングリッシュデイ2025 外国の文化に触れよう

7月27日、町教育委員会による「長島イングリッシュデイ2025」を町開発総合センターで開催し、町の子ども約1000人が参加しました。

この日は、アメリカやメキシコ、カナダ、ジャマイカなど、7つの国のブースを展開し、子どもたちは、それぞれの国の文化を体験しました。この他にも、ALT（外国語指導助手）による英語の絵本の読み聞かせやジャマイカのカルチャーレッスンとしてダンスなどを交えながら外国の文化や言葉を伝えました。



指江の水源地で水神祭 町内水道の安全を祈願して

7月25日、指江の魚釣瀬水源地で安全祈願祭を行い、水道工事指定工事店会会員など約30人が出席しました。

これは、水道の安定供給と共に水道工事の安全を願うことを目的として、水の恵みへの感謝を捧げています。

同会の永岡軍治会長は「水道ライフラインを守っている担い手として、安心安全な水が町中に届けられるよう、安全第一を意識して工事などを行いたい」と話しました。